

検証実施証明書

国立大学法人 愛媛大学

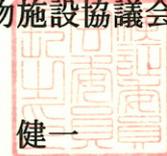
学長 柳澤 康信 殿

貴機関は、国立大学法人動物実験施設協議会及び公私立
大学実験動物施設協議会による「動物実験に関する相互
検証プログラム」による自己点検・評価を行い、その結
果に対する検証を本委員会が実施したことを証します。

平成 24 年 3 月 29 日

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会
動物実験に関する相互検証プログラム

検証委員会 委員長 八神 健一



平成 24 年 3 月吉日

愛媛大学

学長 柳澤 康信 殿

動物実験に関する検証結果の報告について

貴機関より平成 23 年 7 月 28 日で依頼のありました、動物実験の実施状況に関する検証について、提出された資料と訪問調査により検証結果をまとめましたので、別添のとおり報告いたします。

なお、文部科学省「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」では、検証の結果を、インターネットの利用、年報の配布その他の適切な方法により公表することとなっておりますので、申し添えます。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会
動物実験に関する相互検証プログラム
検証委員会 委員長 八神 健一

検証結果報告書（愛媛大学）

動物実験に関する検証結果報告書

（愛媛大学）

動物実験に関する相互検証プログラム

（国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会）

平成 23 年 12 月

平成 24 年 1 月 12 日

愛媛大学学長
柳澤 康信 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会

動物実験に関する相互検証プログラム

検証委員会 委員長



対象機関：国立大学法人 愛媛大学
申請年月日：平成 23 年 7 月 28 日
訪問調査年月日：平成 23 年 12 月 6 日
調査員：喜多 正和（京都府立医科大学）
 笠井 憲雪（東北大学）

検証の総評

愛媛大学は医学部、法文学部、理学部、工学部、教育学部、農学部からなる総合大学であるが、動物実験は医学部の総合科学研究支援センターにある動物実験センターを中心に農学部、法文学部、南予水産研究センターで実施されている。

多数の実験動物飼養保管施設が存在するが、愛媛大学動物実験規則のもとで全学の動物実験委員会を中心に、多岐にわたる研究に必要な動物実験の実施体制が構築され、文部科学省の基本指針及び愛媛大学動物実験規則に則し、ほとんどの動物実験が適正に実施されている。特に、動物実験センターでは高度研究機器も整備され、動物実験のための研究環境の改善を意欲的に推進している点は高く評価できる。しかしながら、医学部以外で実施されている動物実験については、一部に改善すべき点もあり、今後、改善を検討されたい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「愛媛大学動物実験規則」「愛媛大学動物実験委員会規程」が定められ、その内容は基本指針に則したものである。よって、動物実験に関する機関内規程の整備状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「愛媛大学動物実験委員会規程」で基本指針に則した委員会の役割や委員構成等が定められ、10名の委員による委員会が全学の実験計画の審査、実施状況及び結果、施設及び実験動物の飼養保管状況、教育訓練等について審議又は調査を実施する体制となっている。よって、動物実験委員会の整備状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「愛媛大学動物実験規則」において、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが規定され、基本指針に則した動物実験の実施体制が整備されている。また、これらの手続きに必要な各種様式を定めている。さらに、動物実験を行う実験室のチェックシートを作成し、実験室の設置の承認を行うなど、機関の長の管理下で動物実験を行う体制が明確に定められている。よって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「愛媛大学遺伝子組換え実験安全管理規程」、「愛媛大学大学院医学研究科等研究用微生物等安全管理規程」、「毒物、劇物及び抗精神薬等の取扱要領」、「有害化学物質等投与動物実験実施要領」、「動物実験廃棄物処理要領」など安全管理に注意を要する動物実験に関連する規程等が定められ、実施体制が整備されている。よって、安全管理を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当と判断する。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

大学内に多数の実験動物飼養保管施設があるが、すべての施設に管理者及び実験動物管理者が定められており、基本的な管理体制が整備されている。また、実験動物飼養保管施設の申請、委員会による立ち入り調査、機関の長による承認の体制をとり、飼養保管施設チェックシートを作成するなど実験動物の飼養保管に対する体制整備に意欲的に取り組んでいる。よって、実験動物の飼養保管に関する体制について、自己点検・評価の結果は妥当と判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

各実験動物飼養保管施設の実験動物管理者は必ずしも各施設の責任者でなくても良く、動物実験規則にも記載されているように、「実験動物に関する知識及び経験を有する実験動物の管理を担当する者」として、実効性を重視した配置を考慮されたい。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

意見

動物を用いた学生実習や研修も動物実験計画書での審査を実施されたい。また、学生への教育訓練の実施も検討されたい。

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
平成 22 年度には動物実験委員会を 25 回開催し、動物実験計画の審査等を行うなど、基本指針に則した委員会の機能を適正に果たしている。また、委員会が飼養保管施設や実験室を調査するなど、意欲的に活動し、議事録も適確に記録、保存されている。よって、動物実験委員会の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当と判断する。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
平成 22 年度は 31 件の動物実験計画の審査、承認を行い、多岐にわたる分野における動物実験が適正に実施されている。また、実験計画の内容については、必要に応じ一次審査委員が助言をすることにより、動物実験責任者の理解が進み、円滑な審査につながっている。しかしながら、畜産動物を用いた研究の一部は審査、承認が省略されている可能性がある。よって、動物実験の実施状況について、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある」と判断する。
3) 検証の結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

愛媛大学動物実験規則では、畜産に関する飼養管理の教育若しくは試験研究等は規則適用除外になっているが、基本指針における動物実験等の定義より、畜産動物等も実験動物であり、これらを実験に使用する場合はもとより、教育に使用する場合も動物実験等を含むと解釈すべきあり、これらの場合も実験計画を立案、審査、承認、結果報告等の手続きを踏むよう検討されたい。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

安全管理を要する動物実験は、法令及び大学の規程に則して安全に実施されている。実験動物の検疫も適正に行われ、事故があった場合も適切な対応がとられている。よって、安全管理を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当と判断する。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

安全管理に関する一部の規程は医学部あるいは動物実験センターのみを対象に作成されている。医学部以外の学部において実施される安全管理を要する動物実験にも適用されるように改善されることが望ましい。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

実験動物飼養保管施設は、動物実験センターから各講座に設置された実験動物飼養保管施設まで、大小さまざまな 22 施設あるが、それぞれの施設で飼養保管操作マニュアルが整備され、それに沿って飼養保管が実施されている。また、実験動物飼養保管記録簿及び実験動物飼養保管報告書も整備され、適正な実験動物の飼養保管が実施されていることが確認された。よって、実験動物の飼養保

検証結果報告書（愛媛大学）

管状況について、自己点検・評価の結果は妥当と判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

マウス、ラットを使用する動物実験については、医学部以外の学部においても、動物実験センターと同様な実験動物の健康管理、検疫、微生物モニタリング等が実施されることが望ましい。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験委員会がすべての施設等の調査、改善点の指摘を行い、それを受けて、順次、施設や設備の補修等が進められている。特に、動物実験センター及び医学部各講座の施設は適切に維持管理が実施されていた。よって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当と判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験実施者の教育訓練を義務化しており、平成 22 年度に実施した教育訓練受講者は 55 名で

検証結果報告書（愛媛大学）

あった。また、教育訓練の実施記録や受講者の記録等がよく整理されており、基本指針に則した教育訓練が実施されている。よって、教育訓練について、自己点検・評価の結果は妥当と判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

教育訓練を受けてない者が動物実験を開始しようとする場合、極力速やかに教育訓練を受講できるよう、工夫が望まれる。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

平成 19 年度から毎年自己点検・評価を開始しており、すでに動物実験関連の情報が愛媛大学ホームページ上で公開されている。しかしながら、動物実験委員会、教育訓練ならびに実験動物の使用数等は公開されているものの、自己点検・評価報告書の内容はまだ公開されていなかった。よって、自己点検・評価、情報公開について、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある」と判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

自己点検・評価報告書の内容についても、速やかに公開されたい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

意見

遺伝子組換え実験安全委員会との連携を密にして、より適切な標識や管理区域の設定をされたい。また、飼養保管施設や動物使用数から鑑み、動物実験計画書の提出数が少ないと思われるため、動

検証結果報告書（愛媛大学）

物実験計画書の立案などの指導を検討されたい。